

授業概要

3 歳未満児に関する発達過程を正しく理解し、その保育体制および保育の配慮事項についての基礎を学ぶことを通して、乳児保育の意義と目的を理解することをねらいとする。

3 歳未満児の保育においては、3 歳以上児を対象とする保育とは異なる保育のねらいと配慮とがあるが、それには 3 歳未満児の発達過程が深く関連している。乳児保育には幼児期後半の子どもとは異なる配慮に基づく援助が必要であり、その根幹にはどのような理念があるかについての学習を目指す。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション 乳児保育とは
第 2 回	乳児保育の意義・目的と歴史的変遷及び役割等
第 3 回	保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題
第 4 回	3 歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容
第 5 回	3 歳未満児の生活と環境
第 6 回	3 歳未満児の遊びと環境
第 7 回	乳児（0 歳児）の発達過程（身体面・社会面・情緒面・知的面）
第 8 回	乳児（0 歳児）の保育における配慮（保育士等による援助や関わり）
第 9 回	1 歳児の発達過程（身体面・社会面・情緒面・知的面）
第 10 回	1 歳児の保育における配慮（保育士等による援助や関わり）
第 11 回	2 歳児の発達過程（身体面・社会面・情緒面・知的面）
第 12 回	2 歳児の保育における配慮（保育士等による援助や関わり）
第 13 回	乳児保育における計画・記録・評価とその意義①
第 14 回	乳児保育における連携・協働（職員間・保護者・地域・関係機関）
第 15 回	定期試験
第 16 回	まとめ

到達目標

1. 乳児保育の意義・目的と歴史的変遷及び役割等について理解する。
2. 保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解する。
3. 3 歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解する。
4. 乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解する。

履修上の注意

- ・乳児保育での学びの内容を確認し、積極的に授業に参加すること
- ・プリントファイルを、常に持参すること

予習・復習

- ・予習：保育所保育指針、教科書を読んでおく。
- ・復習：授業内容のプリントファイルを作成し、整理して重要事項をチェックする。

評価方法

- ・課題レポートの提出及び試験によって評価する。授業への参加姿勢（10%）・レポート（30%）、試験（60%）で評価を行い、総合評価 60 点以上を合格点とする。

テキスト

- 教科書：・民秋言編著（2017）「幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領の成立と変遷」萌文書林
- ・須永進編著 川喜田昌代ほか著（2019）「乳児保育の理解と展開」同文書院
- 参考書：・厚生労働省（2018）「保育所保育指針解説書」